



手足口病

🔍 病気の説明 (どんな病気?)

コクサッキーA6、A16型、エンテロウイルス71型など複数のウイルスが原因となります。毎年夏を中心に発生し、5歳以下の乳幼児に好発します。手足や口の中などに2~3mmの水疱ができます。発熱しても多くは38℃以下です。原因となるウイルスが複数あるため、再感染することがあります。

🔍 予防 (感染はどう防ぐ?)

飛沫感染(咳、くしゃみ、唾液など)、接触感染(感染者の飛沫などに触れた手で、口や目などの粘膜を触ることによる)です。また、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入ることによる)もあります。潜伏期間は3~5日です。



予防には、こまめな手洗いが重要です。アルコールは効きにくいいため、注意が必要です。タオルなどの共用は避けましょう。治った後も、比較的長い期間、患者の便と一緒にウイルスが排出されるため、患者が乳幼児の場合、おむつ交換後の手洗いも重要です。

🔍 治療 (感染したときは?)

基本的に症状は軽く、数日間のうちに自然に軽快します。まれに重症化することがあるため、注意が必要です。

🔍 登園・登校の基準

発熱がなく、普段の食事がとれるなど、本人の全身状態が安定している場合は登園・登校が可能です。

🔍 詳しく知りたい方は [手足口病について | メディカルノート \(medicalnote.jp\)](https://medicalnote.jp)

🔍 横浜市の流行状況 [横浜市感染症情報センター 横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](https://yokohama.lg.jp)

